

質問に対する回答書38

東北自動車道 蓮田サービスエリア(下り線)改築工事

番号	質問箇所	質問事項	回答
1	特記仕様書 26-4 客土掘削 土砂A	土工 数量計算書P11にA1橋台の埋戻し土量(盛土量)がV=270.1m ³ と記載されています。客土掘削 土砂A(T)では、270.0m ³ をC=0.9で換算し必要土量を算出しています。しかし、特記仕様書より、客土掘削 土砂Aの土質区分は土砂Bと記載があるので、必要土量は $V=270.1/0.87=310.5\text{m}^3$ ではないでしょうか。または、特記仕様書の土質区分は土砂Cでしょうか。A1、A2橋台の必要土量、土砂区分についてご教示ください。	埋戻し土量は土工数量計算書に示す「橋台部」、「路体」が対象となります。土砂区分は土砂Bを想定しております。
2	特記仕様書 26-6 構造物掘削 特殊部A	構造物掘削土Aの土質区分は、土砂Ⅱ(土砂C、D)のうち土砂Cを想定しているかご教示ください。	そのとおりお考えください。
3	運搬時間について	土工・構造物掘削の各単価項目において、積算時に使用する運搬時間は、土工数量計算書P4.5に記載されている運搬時間を使用していると考えます。この計算書では、⑨国道122号 L=7.0kmの走行規制速度を、全線60km/hとしていますが、確認したところ東北道 手前陸橋から50km/hの規制が掛っているようです。積算において、50km/hの規制を考慮し運搬時間を設定しているかご教示ください。	数量計算書は参考資料であり、積算において、50km/hの規制を考慮した運搬時間の適用を想定しております。
4	特記仕様書 26-14 仮設防護柵工	特記仕様書26-14-5 支払 に仮設防護柵の運搬についての記載がありません。仮設防護柵の資材置場から設置箇所への運搬は本工事で行うのでしょうか。	仮設防護柵の運搬は本工事で行います。
5	特記仕様書 26-14 仮設防護柵工	割掛対象表の仮設材等運搬費が仮設防護柵工の割掛先になっていません。仮設防護柵の運搬を本工事で行う場合は、運搬費はどこに計上するのでしょうか。	それぞれの単価項目に計上してください。
6	特記仕様書 26-14 仮設防護柵工	B型フェンス材料費は、物価資料単価、特別調査単価、見積単価のどれを想定しているかご教示ください。	物価資料単価の適用を想定しております。
7	特記仕様書 26-14 仮設防護柵工	B型フェンスと自発光式チューブライトの設置・撤去は、どのような歩掛を想定しているかご教示ください。	B型フェンスはNEXCO積算基準書P6-9、チューブライトはNEXCO積算基準書P25-11の適用を想定しております。

8	単価表25 型わくZ	型わくZの積算は、令和6年度版 国土交通省土木工事標準積算基準書(共通編) 第II編 4章 コンクリート工 ②-1型枠工 3.施工パッケージの歩掛を採用しているかご教示ください。	歩掛りはNEXCO積算基準書P13-6、材料費は見積りを想定しております。
9	単価表35 路面標示工 路面標示標準型C1(1)	路面標示標準型C1は水性II型でなく、熔融型と考えてよろしいですか。	共通仕様書P16-9「路面標示工」の規定に従い、貴社の施工計画に基づきお考えください。
10	単価表35 路面標示工 路面標示標準型C1(1)	路面標示標準型C1(1) 214.8mのうち、高機能舗装上に施工する数量をご教示ください。	施工は全て高機能舗装以外を想定しております。
11	設計図 土工 2/115 暫定形舗装表面図	B-STA.6+60.31~B-STA.6+76.86 の 高機能II型 A=40.5m ² の表層から下部路盤までの施工は、小面積より、人力施工を想定しているかご教示ください。	人力施工を想定しております。
12	設計図 土工 3/115 一次掘削 土工平面図	上り線と下り線のサービスエリア内の一次掘削箇所照明灯がありますが、照明灯・照明撤去は本工事施工対象外と考えてよろしいですか。	そのとおりにお考えください。
13	設計図 土工 3/115 一次掘削 土工平面図	下り線のサービスエリア内の一次掘削箇所照明灯を撤去した際には、駐車場の視認性確保のため、仮設照明を設置する予定でしょうか。また、仮設照明設置は本工事施工対象外と考えてよろしいですか。	特記仕様書28.補足事項(5)に記載のとおり本工事に追加する場合があります。
14	設計図 土工 3/115 一次掘削 土工平面図	下り線のサービスエリア内の駐車場拡幅掘削箇所にハンドホール、埋設ケーブルがありますが、それらの撤去は本工事施工対象外と考えてよろしいですか。	本工事で撤去が必要と監督員が認めた場合は協議の対象となります。
15	設計図 土工 15/115 標準横断図(2) 下り線側	表層 t=5cmは、単価表のとおり、改質アスファルトII型(一般用)(骨材配合:基層混合物、設計粒度:最大粒径20mm)でよろしいでしょうか。	「改質アスファルトII型(一般用)t=5cm」は単価表番号31に含まれており、材料は遮水性基層と同様に改質As(一般用)20mmを想定しております。

16	設計図 土工 100/115 仮設工 構造図(1)	B型フェンスと自発光式チューブライトを除く仮設防護柵 L=4.0mと仮設防護柵 L=8.0mの単位当たり重量をご教示ください。	仮設防護柵L=4.0m、8.0m共に120.6kg/mを想定しております。
17	設計図 土工 101/115 仮設工 構造図(2)	B型フェンスと自発光式チューブライトを除く仮設防護柵の単位当たり重量をご教示ください。	仮設防護柵DのH型基本は1690kg/1基、H型端部ANは1178kg/1基、H型端部BNは1241kg/1基を想定しております。 仮設防護柵EのH型基本は1202kg/1基、H型端部ANは820kg/1基、H型端部BNは883kg/1基を想定しております。
18	割掛参考図 3/4	調査工閉塞費について、調査ボーリング(事前調査)では計上せず、調査ボーリング(事後調査)では計上していると考えてよろしいですか。	調査ボーリングの実施方法により、貴社の施工計画に基づきお考えください。
19	割掛参考図 3/4	ボーリングを複数箇所実施する場合は、現場内小運搬費用を計上していると考えてよろしいですか。	貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上してください。
20	割掛参考図 3/4	ボーリング施工に環境保全(仮囲い)は不要と考えてよろしいですか。	そのとおりにお考えください。